

(新) 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会開催を契機とした
国立公園等における公園利用施設の国際化等整備事業(公共)

2,533百万円(0百万円)

自然環境局総務課、国立公園課、自然環境整備担当参事官室

1. 事業の必要性・概要

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会開催を契機に、わが国の自然景観地への訪問要望が高い訪日外国人が大幅に増加する見込みである。そこで、わが国を代表する自然景観地である国立公園における訪日外国人の受入環境を整備するため、国及び地方自治体が整備した公園利用施設について、2020年を目指した国際化対応のための施設整備を集中的に推進する。

また、競技会場である国民公園(皇居外苑地区・北の丸地区)において、ユニバーサルデザインの導入、多言語表記化等を推進するとともに、老朽化した施設の改修やわが国を象徴する場として皇居の濠の水質改善等により良好な環境を確保する。

2. 事業計画(業務内容)

(1) 国立公園における公園利用施設の国際化等整備事業

- ① 国立公園において直轄で整備した公園利用施設について、国際化対応のための施設整備(案内標識・情報提供施設等の多言語表記化、公衆トイレの再整備・洋式化、国際対応が必要な歩道等の整備等)を実施する。
- ② ビジターセンター等公園利用施設において、外国語による自然情報の提供・案内を行う等により国際化対応が充実した管理を行う。また、多言語表記化した案内標識等について、点検・修繕等を実施する。

(2) 国民公園における競技会場周辺等の環境整備事業

多くの来場者が見込まれる競技会場周辺等の施設(トイレ、休憩所、広場、歩道等)について、老朽化への対応と併せ、ユニバーサルデザインの導入、多言語表記化等を進めるとともに、今後内外の注目が集まるわが国を代表する場に相応しい快適・良好な環境整備(皇居外苑濠の水質改善、歴史的遺産・皇室ゆかりの施設の改修、皇居の森と一体化した再整備等)を実施する。

(3) 国立公園における公園利用施設の国際化等整備交付金(交付率:2分の1、事業主体:都道府県及び市町村)

国立公園における地方自治体が所有する公園利用施設について、国際化対応のための施設整備に対する支援を行う。

3. 施策の効果

訪日外国人の地方への誘客を図るため、国立公園等における当該外国人の受入環境を整備し、観光の促進と地方の活性化に資する。

(新)2020年オリンピック・パラリンピック東京大会開催を契機とした 国立公園等における公園利用施設の国際化等整備事業(公共)

平成27年度予算要望額:整備事業 9.1億円、交付金12億円

●訪日外国人旅行者●

- ・2013年、1,036万人超
- ・2010年から2013年にかけて、175万人増
- ・東京オリンピック・パラリンピック開催の2020年に訪日外国人旅行者数2,000万人を目指す
- ・日本に訪問した際に実施したい活動:自然・景勝地観光 42.8%



我が国を代表する自然景勝地である国立公園において、公園利用施設の国際化を進めることにより、受入環境を整備し、これら訪日外国人の地方への誘客を図っていく。

【施策】

東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、自然・景勝地を楽しむ訪日外国人の増加と地方への誘客を図るため、国立公園において国及び地方自治体が整備した利用施設の国際化対応の施設整備(標識・情報提供施設の多言語対応整備、公衆トイレの再整備・洋式化、その他国際化対応が必要な歩道等の整備)を集中的・重点的に推進し、受入環境を整備していく。

国立公園における公園利用施設の 国際化等整備事業

国立公園において、直轄施設等については国際化対応のための施設整備を実施
(支出予定先:民間企業等)

国立公園における公園利用施設の 国際化等整備交付金【新設】

国立公園において、地方自治体が所有する公園利用施設の国際化対応のための施設整備について、その事業費の1/2を上限として支援
(支出予定先:都道府県)

国立公園の利用環境がより充実し、訪日外国人の増加をはじめ、
地方の観光振興・活性化に寄与

国民公園における競技会場周辺等の環境整備事業

平成27年度予算要望額： 4.2億円（支出予定先：民間団体等）

皇居外苑の特性

- ・日本の象徴的存在
- ・江戸城の歴史的景観
- ・貴重な自然、憩いの場

皇居外苑がロードレース、柔道会場 (マラソン等の可能性も有り)

- ・競技に際し内外の注目
- ・日本の象徴的な場として
多くの来訪者



現状

- ・苑内利用施設(競技会場周辺施設)の老朽化、ユニバーサルデザインの欠如
- ・外国人等への情報提供の不足
- ・皇居外苑濠(内濠)の水環境の悪化



オリンピック・パラリンピックへの対応

- 競技会場周辺等の施設(トイレ、休憩所、広場、歩道等)について老朽化対応、ユニバーサルデザインの導入、多言語表記化等
- 外国人等への適切な情報提供の展開
(民間等のツール、人材の活用、連携)
- 皇居外苑濠の水環境改善
(第2期水質改善計画の作成、新しい対策の検討・試行、皇居と一体となった森と水辺づくり)